

令和5年度 環境基本計画に関する施策等の年次報告

重点エコプロジェクト達成状況

	年度	A	B	C	D	E
里山保全	R5	12	0	1	0	0
	R4	8	3	1	1	0
生物多様性	R5	5	3	1	1	0
	R4	5	4	0	1	0
低炭素社会	R5	5	4	3	1	0
	R4	3	7	2	1	0
資源循環	R5	3	4	1	2	1
	R4	4	6	0	0	1
合計	R5	25	11	6	4	1
	R4	20	20	3	3	1

[里山保全] みたけの里山・森林とふれあおう！

里山・森林整備活動団体や事業者と連携した体験講座等の実施

A…100%/B…75%/C…50%/D…25%/E…0% (未着手)

① 親子などを対象にした林業体験講座の実施	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	2講座	1講座	1講座	4講座	3講座を継続		
【内容】 農林	企業の森活動の適切な実施					D	A
【実績】 農林	(株)十六フィナンシャルグループ、アサヒビール(株)、東邦ガス(株)、東海化成工業(株)の4企業と協力して森林整備を実施した。						
② 山の恵みを知ることや、山菜取り、山菜料理体験を実施	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	1体験	1体験	1体験	1体験	1体験を継続		
【内容】 農林	上之郷中学校において、山に関わる体験を継続して実施する。 <上之郷中学校> ・茶園除草活動 ・茶摘み、茶もみ体験活動 ・焙炉、茶話会活動					C	C
【実績】 農林	継続的に実施しているが、除草活動など茶園の維持に関する体験が主となっている。						
③ 里山・森林を知る散策ルートなどのリニューアル	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	未実施	実施中	実施中	実施中	継続中		
【内容】 農林	県補助事業による林道補修の確実な実施					A	A
【実績】 農林	林道谷山線の3橋の補修（R4：3橋の橋梁点検）を実施した。						

[里山保全] みたけの里山・森林とふれあおう！

里山・森林の保全を学ぶ（担い手の育成）

④ 幼・保・小・中・高等学校での環境教育（森林環境学習含む）や生涯学習講座で里山・森林の現状を学ぶ	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	小中高で実施中	実施中	実施中	実施中	多世代の環境教育を推進		
<p>【内容】 農林 2講座の実施 学教 全校で年間2講座を実施する。 生学 成人講座でみたけの森散策を実施する。</p> <p>【実績】 農林 各小中学校の植林体験（5講座）の中で環境教育を実施した。また、伏見小学校では別途2講座を実施し、合計7講座（R4：2講座）を実施した。 学教 各小中学校において社会科、生活科、総合的な学習の時間等を活用しながら、13講座（R4：12講座）を実施した。 生学 成人講座で、10月にみたけの森の植物観察講座を実施し、湿地の樹木や植物について学んだ。 環モ 幼保から大人までを対象とした木育講座を6講座（R4：4講座）実施した。</p>						A	A
⑤ 児童生徒を対象にした林業体験の実施	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	未実施	2講座	2講座	5講座	林業体験を継続		
<p>【内容】 農林 2講座の実施 学教 年間2講座を実施する。</p> <p>【実績】 農林・学教 植林体験として、町内小中学校を対象に5講座を実施した。（上之郷小・上之郷中は合同開催）</p>						B	A
⑥ 里山・森林整備活動団体（事業者含む）のメンバーを増やす	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	水21名 企2団体	水20名 企4団体	水22名 企4団体	水14名 企4団体	水25名 企4団体		
<p>【内容】 農林 1名以上の新規入隊</p> <p>【実績】 農林 1年以上活動していない者を除隊した。1名の新規入隊があった。</p>						A	A
⑦ 里山・森林保全の先進地で視察や体験研修を実施	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	1研修	代替事業の実施	代替事業の実施	1研修	1研修を継続		
<p>【内容】 環モ室 環境都市交流体験プロジェクト（北海道下川町への派遣）を実施する。</p> <p>【実績】 環モ室 8/16～8/20にかけて「環境都市交流体験プロジェクト」を実施。中学生6名・水土里隊1名・教職員1名を派遣し、北海道下川町で森林保全体験研修を行った。研修成果については中学生による発表を動画撮影し、環境フェア2024で上映したりケーブルテレビで見ることができたりなど幅広く周知した。</p>						B	A

[里山保全] みたけの里山・森林とふれあおう！

里山・森林などの資源を活用する

⑧ 空き家などを活用した農業体験の実施	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	未実施	実施中	実施中	実施中	事業を継続		
【内容】 農林 農業体験施設を拠点とした体験を実施 【実績】 農林 6月に田植体験（参加17名）、10月に稲作収穫体験（参加6名）を実施した。						A	A
⑨ 間伐材や竹の利活用の検討（薪やスプーン、おもちゃづくりなど）	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	未実施	継続中	継続中	継続中	活動を継続		
【内容】 農林 間伐材を活用した事業の展開 【実績】 農林 水土里隊が作成した薪を中山道みたけ館、わいわい館へ提供した。 環モ室 住民を対象とした、木育講座（木のスプーン・フォーク・カフェプレート・スツール・色鉛筆づくり講座や竹の水鉄砲作り）を行い、木の利活用について啓発を行った。						B	A

[里山保全] みたけの里山・森林とふれあおう！

里山・森林などの現状を伝える

⑩ イベント開催時にPRブースなどを展開し参加者への周知を行うとともに町広報紙やHP（SNS含む）、CTKなどを活用し、広く周知する	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 農林 各企業との協働による森林づくり活動						B	A
【実績】 農林 企業と協力して実施した森林づくり活動（4企業と実施）について、町広報誌でPRした。							
⑪ 各種団体や各学校などが活動成果や学んだことを環境フェアなどで発表する	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 学教 小中学校の環境学習のまとめを環境フェアなどで展示または発表する。						A	A
【実績】 学教 学校の取組は随時学校HP等により行っている。ほっとみたけ3月号では子どもセンターが編集発行する情報誌「ぼけっと」におけるSDGsに係る取組を紹介した。環境フェアでは各中学校及び御嵩小学校が出展した。							
⑫ 里山・森林整備活動団体や住民から情報収集を行うとともに、里山・森林整備活動団体や住民がそれぞれの手段で伝え広める	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 農林 森林管理委員会の実施						A	A
【実績】 農林 森林管理委員会を実施した。環境フェアでは水土里隊による活動の展示を行った。							
⑬ 里山・森林への視察などを受け入れる	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	随時	0	3	1	継続		
【内容】 農林 林業団体1件以上の受け入れの実施						A	A
【実績】 農林 愛知県新城設楽農林水産事務所の視察を受け入れた。							

[生物多様性] 貴重な生き物のことをみんなで知ろう！

希少野生生物のことを知ろう

A…100%/B…75%/C…50%/D…25%/E…0% (未着手)

① 生物環境アドバイザーや有識者などと連携し、必要に応じて御嵩町版レッドデータブックの改訂を検討	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	改定版	検討中	検討中	検討中	改定版を検討		
【内容】 環モ室 レッドデータブックの改訂に向け庁内で検討する。						D	D
【実績】 環モ室 予定していた範囲まで検討を進めることができなかったため、引き続き調査研究を継続する。							
② みたけの森などで自然観察会や生き物調査などの実施	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	未実施	4講座	4講座	5講座	事業を継続		
【内容】 環モ室 自然観察会を継続する。カワゲラウォッチングを実施する。						B	A
【実績】 環モ室 観察会と生き物調査を合計5回（R4:4回）実施した。（森の植物観察会2回、森の野鳥観察会2回、小学生を対象にしたカワゲラウォッチング1回）							
③ 希少野生生物などが生息する貴重な場を見て知っていただくための整備をボランティア団体（個人含む）などとともに進める	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	未実施	実施中	実施中	実施中	整備を継続		
【内容】 環モ室 前沢湿地の環境改善に向けた作業を実施するとともに、経過観察を継続する。						B	A
【実績】 環モ室 年度当初の計画どおり、7/30と11/11の合計2回、学識者と生物環境アドバイザーで前沢湿地の保全作業を行った。止水堰による水量管理や樹木・ツル類の伐採による光環境の改善を行うなど、定期的な保全作業と経過観察を実施した。							
④ 幼・保・小・中・高等学校での環境教育や講師派遣講座などで希少野生生物の現状を学ぶ	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	小中高で実施中	実施中	小・中で実施	小・中で実施	多世代の環境教育を推進		
【内容】 環モ室 自然体験学習や環境学習等へ講師を派遣する。 学教 小中学校の環境学習等へ講師を派遣する。						B	B
【実績】 環モ室・学教 小中学校の環境学習として、合計5回（R4:4回）生物環境アドバイザーを講師として派遣した。カワゲラウォッチング（御嵩小・共和中・向陽中）、総合学習（みたけの森学習）（御嵩小・共和中）							

[生物多様性] 貴重な生き物のことをみんなで知ろう！

外来種が及ぼす影響を知ろう

⑤ 自治会と連携した外来種（オオキンケイギクやアレチウリなど）の生息調査	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	未実施	実施中	実施中	実施中	マップの更新を継続		
【内容】 環モ室	生息状況について情報収集をおこないマップを更新する。					A	C
【実績】 環モ室	自治会等から得た情報等に基づいて、生息・分布状況を確認しマップを更新しているが、今年度の情報提供は0件であった。						
⑥ 自治会や各種機関と連携した外来種の駆除活動の実施	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	未実施	団体と 駆除活動を実施	国・団体と 駆除活動を実施	国・団体と 駆除活動を実施	自治会と連携し た活動を実施		
【内容】 環モ室	国交省や各種団体と連携し、駆除活動を実施する。					B	B
【実績】 環モ室	5/13に伏見地内でオオキンケイギクの駆除活動を実施し、町民や町生物環境アドバイザーなど26名が参加した。任意団体が実施した駆除活動において、必要物品の支給等の支援をした。						

[生物多様性] 貴重な生き物のことをみんなで知ろう！

希少野生生物や外来種の現状を伝える（担い手の育成）

⑦ イベント開催時にPRブースなどを展開し参加者への周知を行うとともに町広報紙やHP（SNS含む）、CTKなどを活用し、広く周知する	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 環モ室	ささゆりまつりと環境フェアでブースを出展する。					A	B
【実績】 環モ室	町HPでオオキンケイギク・セアカゴケグモのページを作成したほか、6/1から規制対象となったアカミミガメ・アメリカザリガニについて、町広報誌での啓発を行った。						
⑧ 各種団体や各学校などが活動成果や学んだことを環境フェアなどで発表する	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 環モ室	環境フェアにて関係団体がブース出展し、学校が展示や発表を行う。					A	A
学教	小中学校の環境学習のまとめを環境フェアなどで展示または発表する。						
【実績】 環モ室	環境フェアでは、合計35団体の各種団体や各学校による展示が行われ、複数のブースで湿地や希少野生生物等に関する普及啓発が行われた。					A	A
学教	学校の取組は随時学校HP等により行っている。ほっとみたけ3月号では子どもセンターが編集発行する情報誌「ぼけっと」におけるSDGsに係る取組を紹介した。環境フェアでは各中学校及び御嵩小学校が出展した。						
⑨ 環境保全団体や住民から情報収集を行うとともに、環境保全団体や住民がそれぞれの手段で伝え広める	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 環モ室	各団体・住民から情報を収集するとともに、各団体・住民が情報を発信する場を提供する。					A	A
【実績】 環モ室	希少野生生物保護監視員等や自治会長などの住民から希少種、外来種の状況について情報収集を行っている。環境フェアでは、各種団体が住民へ周知する場を提供することができた。						
⑩ 希少野生生物の保護や外来種の適切な駆除・指導ができるリーダーの養成	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	未実施	—	—	—	リーダー養成につながる自然観察会を継続		
【内容】 環モ室	自然観察会等を継続的に実施し、アドバイザー候補者の掘り起こしを行う。					A	A
【実績】 環モ室	有識者による野鳥観察会と野草研究者と歩く植物観察会を合計4回実施し、多様な年齢層の住民に対して植物等への関心を掘り起こすきっかけづくりができた。						

[低炭素社会] 「移動を“エコ”に！」運動の推進

ノーマイカーデー運動の推進

A…100%/B…75%/C…50%/D…25%/E…0% (未着手) 

① ノーマイカーデー運動賛同事業所・団体を増やす	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	21団体	22団体	22団体	22団体	26団体		
【内容】 企画	ノーマイカーデー運動賛同事業所・団体が増えるよう啓発活動を行い、26団体以上の登録を目指す。					B	B
【実績】 企画	新たに3団体へ賛同いただけるよう個別で打診したものの、現時点で新たな登録には至らなかった。						
② ノーマイカーデー運動賛同事業所・団体の活動実績報告を公表	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	未実施	未実施	未実施	一部公表済	公表済		
【内容】 企画	ノーマイカーデー運動賛同事業所・団体の活動実績報告等を公表する					C	C
【実績】 企画	賛同事業者はホームページにて公表しており、活動実績の一部公表を行った。実績報告が事業所の負担になると伺っており、仕組み自体の改善を進める。なお、御嵩町役場は10年以上エコ通勤の取組を行ってきたことから、公共交通利用推進等マネジメント協議会及び（公財）交通エコロジー・モビリティ財団より、エコ通勤優良事業所に登録された。						

[低炭素社会] 「移動を“エコ”に！」運動の推進

公共交通機関の利用促進

③ 小・中学校で名鉄広見線は地域にとって必要な社会インフラとの認識を高める交通環境学習を推進	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	全小・中学校で実施	一部で実施	50%実施	83%実施	全小・中学校で実施		
【内容】 企画	社会見学、校外学習などで名鉄広見線を利用する。					C	B
【実績】 企画	町内にある小中学校全6校のうち5校で校外学習等で利用したと報告されている。実施できていない学校には個別に協議していく。なお、幼保の園児や乳幼児家庭教育学級の幼児も校外学習等で利用している実績があり、幼少期からの公共交通についての意識醸成が後押しされている。						
④ コミュニティバスの利用者を増やす	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	25,923人(H27)	22,259人(実績)	23,500人(推計)	25,535人(推計)	25,000人		
【内容】 企画	御嵩町地域公共交通網形成計画の策定後、各アクションプランを進めていくことで利用者増を図り、年間利用者数：25,000人以上とする。					B	A
【実績】 企画	R5のふれあいバス利用者は7,000人（4～9月計）、ふれあい予約バスは8,239人（4～1月計）となった。推計で25,000超となり、特にふれあい予約バスの利用が伸びている。ふれあい予約バスのコンビニミーティングポイント設置による利便性向上が、利用増の要因と推測している。引き続き、デジタル技術の活用や福祉施策との連携など多角的なアプローチにより、自家用車から転換するための付加価値を提示できるようにする。						
⑤ コミュニティバスのバス停や運行ダイヤ等の見直し	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	随時	随時	随時	随時	随時		
【内容】 企画	必要に応じてバス停の見直しやルート変更を行い、バスの利便性向上に努める。					A	A
【実績】 企画	自治会からの要望等により、R5年10月よりふれあい予約バスのバス停留所を1か所新設した。また、R6年3月には、名鉄広見線のダイヤ改正と連動したふれあいバス・ふれあい予約バスのダイヤ改正を行う予定としており、電車とバスとの結節を維持する。						

[低炭素社会] 「移動を“エコ”に！」運動の推進

⑥ 沿線お出かけイベントなどで名鉄広見線（定期外）利用者を増やすとともに利用プラスワン運動の推進	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	178,057人	126,726人 (実績)	152,000人 (推計)	164,500人 (推計)	180,000人		
<p>【内容】 学教 全校で年間1回以上、目的地まで名鉄広見線利用を実施する。</p> <p>企画 沿線お出かけイベントなどで名鉄広見線（定期外）利用者を増やすとともに、新型コロナウイルスの影響により減少した各種定期券利用者を元に戻す。</p> <p>生学 子どもが安心して電車に乗る楽しみを体験できるよう、継続して実施する。</p>						B	B
<p>【実績】 学教 御嵩小学校生活科校外学習（可児市ふるさと川公園）等、4校で11回（R4：9回）実施した。</p> <p>企画 名鉄との共働により、広見線フリー乗降と割引等のサービスを受けられる企画きっぷである「みたけ・可児散策きっぷ（4月～）」を販売し、870人（4～12月）（前年同期間比：▲842人）の利用があった。また、企画きっぷと連動した謎解きイベントを開催し、778人（4～12月）（前年同期間比：▲596人）の利用があった。その他、活性化協議会のイベント等により、定期外利用者は109,664人（4～11月）（前年同期間比：+9,362人）となった。なお、定期利用者確保に向けては、補助申請手続きのオンライン化による利便性向上や、フリーペーパー等で補助制度の周知を行った。</p> <p>生学 乳幼児合同家庭教育学級で、御嵩から可児市までの移動に名鉄広見線を利用して家族学級を行った（51名参加）。</p>							

[低炭素社会] 「移動を“エコ”に！」運動の推進

移動によるCO₂（二酸化炭素）排出を削減

⑦ 電気自動車の急速充電器利用者（御嵩駅前駐車場）や各企業の普通充電器の利用者を増やす	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	60回/月	109回/月	107回/月 (11月まで)	-	180回/月		
【内容】 環モ室	ホームページ等で周知を継続し利用者数の維持を図る。					A	C
【実績】 環モ室	御嵩駅前駐車場に設置した急速充電器は、R4年12月に所有権を移管したため利用者数の把握はできていないが、町HPでの周知は継続している。 (加盟店契約により無償で維持管理していたが、契約終了にあたり今後の町負担を最小限とするため所有権を譲渡した)						
⑧ 御嵩駅のレンタサイクル利用者を増やす	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	279人 (H26)	90	145	99 (1月末)	213人		
【内容】 まち	引き続き収益事業として持続可能なレンタサイクル事業を展開し、財源確保に努める。					B	C
【実績】 まち	観光シーズン（5,6月、10,11月）を中心に利用の増加がみられるが、年間を通しては低調になっている。						
⑨ 自転車移動ができる魅力ある観光地巡り旅の考案	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	未実施	ツアー動画作成	未実施	未実施	町内マップの作成		
【内容】 まち	作成したサイクリングマップを活用し、コロナ化を見据えた周遊イベントを開催していく。					D	D
【実績】 まち	サイクリングマップを配布するなど周知に努めているが、イベント等の開催には至っていない。						

[低炭素社会] 「移動を“エコ”に！」運動の推進

ノーマイカーデー運動の推進や公共交通機関の利用を伝える

⑩ イベント開催時にPRブースなどを展開し参加者への周知を行うとともに町広報紙やHP（SNS含む）、CTKなどを活用し、広く周知する	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 企画	「中山道往来」などのイベントへ名鉄を利用するよう促す・イベント告知の際に、公共交通機関の利用を推進する。・活性化協議会のイベント等を様々な媒体を活用して周知し、利用促進に効果のある情報発信を行う。・イベント「御嵩あかでんランド」内のアトラクション要素として電車を利用していただく仕組みを多く取り入れ、町内外の利用啓発を図る。					B	A
【実績】 企画	「中山道往来」においては、御嶽宿さんさん広場を受付にするなど、名鉄利用を前提としたイベント設定及びアクセス案内をしていただいた。また、「でんしゃ旅」「よってりゃあみたけ」では、電車来訪者に特典を付与する事業を行った。「御嵩あかでんランド」は未開催となったが、「鉄道の思ひ出展」「復刻塗装列車出発式」といった電車をテーマにしたイベント開催のため、HPだけでなくマスコミへの積極的な広報に努め、多くの方にご来訪いただいた。						
⑪ 各種団体や各学校などが活動成果や学んだことを環境フェアなどで発表する	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 企画	環境フェア等にて団体とともに、公共交通の利用を推進する情報発信および展示を行う。					B	A
【実績】 企画	中部運輸局主催の「鉄道の日イベント」において、赤い電車応援ポスターの展示を行った。環境フェアでは、環境にやさしい公共交通についてのパネル展示、赤い電車ペーパークラフト配布を行った。東濃実業高校の生徒と連携した名鉄広見線沿線おすすめ店舗紹介ニュースの作成や、東濃高校の生徒が作成した広見線沿線のおすすめスポット紹介動画のYouTube投稿など、情報発信を行った。						
⑫ 各種団体や住民から情報収集を行うとともに、各種団体や住民がそれぞれ的手段で伝え広める	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 企画	活性化協議会のイベント補助制度を周知し、各種団体がイベントを実行しやすい環境を整える・団体の集まりやイベント時に公共交通機関を利用するよう周知する・町民等による自主組織活動（御嵩あかでんランド実行委員会、名鉄広見線を守ろう会等）をHPやSNSで取り上げ、町全体が一丸となって展開していることを積極的にPRしていく。					A	A
【実績】 企画	活性化協議会のイベント補助制度を6団体に活用いただいた。名鉄広見線を守ろう会のお出掛けイベントのサポートを継続したほか、西尾市で開催されたイベントへの出展補助も行った。「鉄道の思ひ出展」開催にあたり、住民から名鉄広見線との思い出を募集し展示の一部とすることで、地域全体が参画できる展示とした。						

[低炭素社会] 「移動を“エコ”に！」運動の推進

⑬ コミュニティバスや名鉄広見線の乗り継ぎなどを分かりやすく表示する	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	未実施	改善済み	改善中	改善中	表示済み		
【内容】 企画	名古屋鉄道に対して、主に観光案内に関する有用性を説くことによりデジタルサイネージの設置について折衝を進める。					B	B
【実績】 企画	御嵩駅等でのデジタルサイネージの設置については検討しているものの、費用対効果が測定できていないことや取扱方針が定まっていないことから、設置には至っていない。他方、主たる目的である乗継を含む利用方法の分かりやすさを向上させるため、コミュニティバス利用案内動画の製作を検討しているほか、御嵩駅観光案内所の機能についてより町の玄関口としての効果が高まるよう関係者との協議を進めていく。						

[資源循環] 生ごみ減量と緑を育む運動の推進

堆肥などによる生ごみの減量化

A…100%/B…75%/C…50%/D…25%/E…0% (未着手)

① 各家庭において生ごみの堆肥化に取り組む	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	280人	397	422	423	430人		
【内容】 住環	ダンボールコンポスト講習会の開催や、広報誌等を活用し周知を図る。					B	D
【実績】 住環	伏見小学校4・5・6年生に、夏休みの自由研究用としてダンボールコンポスト作成のリーフレットを配り紹介を行った。(R4:御嵩小) 広報誌ほっとみだけで、コンポストの案内を広く行った。(講習会を行っても、リピータになって頂けなく、ダンボールコンポストの補助金申請も令和5年度1月末まででは、1人のみであった。)						
② ダンボールコンポストなど堆肥化する機器の普及(補助金の活用)	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	280人	397	422	423	430人		
【内容】 住環	生活環境施設補助金の交付件数を25件を目指す。					A	B
【実績】 住環	生活環境施設整備補助金は1月末で16件(R4:25件) 交付した。うちダンボールコンポストは1基交付し、その他に設置型コンポスト8基、電動式生ごみ処理機5基、剪定枝葉粉碎機2基、堆肥化密閉容器0基であった。						
③ 料理教室やエコクッキング講座の実施	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	年1回 20人	0	0	0	40人		
【内容】 住環	講座の開催だけでなく、広く周知を図る方法を検討する。					B	D
【実績】 住環	講座の開催は未実施。広報誌3月号の「シンプルライフのすすめ」で「エコクッキングを進める」として内容を掲載。(掲載内容: 買い物にマイバックの持参・冷蔵庫を整理して、食品ロスをなくす・生ごみは水気を切るなど。)						

[資源循環] 生ごみ減量と緑を育む運動の推進

グリーンカーテンづくりでエコと緑を育む

④ 各家庭や事業所においてグリーンカーテンづくりに取り組む	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	—	—	—	—	—		
<p>【内容】 学教 <上之郷小学校> ・グリーンカーテン作り（4年生） 環モ室 節電チャレンジの実施項目の一つとして取り組みを呼びかける。 住環 プランターでおかわかめの緑のカーテン作り講習会を定員40名でわいわい館等で開催する。</p> <p>【実績】 学教 他の事業実施に係り、本事業は未実施であった。 環モ室・住環 生活学校と共催でグリーンカーテンづくり講座を開催し、26名（R4：13名）が参加した。また、講座参加者へ苗木を配布し、家庭でのグリーンカーテン作りを支援した。夏の取組み実績のうち、グリーンカーテンやすだれなど、日射への対策をした家庭は66.3%（R4：86.7%）だった。</p>						B	B
⑤ 住民と行政の協働により公共施設にグリーンカーテンなどで空間の緑化を実施する	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	12施設 (全28施設)	実施	実施	実施	公共施設にて実施		
<p>【内容】 環モ室・住環 公共施設でグリーンカーテンの働きかけを継続するほか、公共施設で個人向けグリーンカーテンの普及啓発を行う。</p> <p>【実績】 環モ室 個人向けのグリーンカーテン啓発活動として、役場窓口や出先機関において、アサガオとフウセンカズラの種をあわせて420セット配布した。 住環 上之郷公民館と伏見公民館においてゴーヤなどのグリーンカーテンを設置した。</p>						B	A
⑥ グリーンカーテンコンテストや育った食材で作るお料理アイデアの募集	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	未実施	未実施	未実施		イベント実施済み		
<p>【内容】 住環 グリーンカーテン作りに取り組める講座を開催する。</p> <p>【実績】 住環 グリーンカーテンコンテストや育った食材で作るお料理アイデアの募集は実施できなかった。</p>						E	E
⑦ グリーンカーテンと節電などでCO ₂ 排出量削減を目指す	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	—	52.6%	86.7%	66.3	60% 取組実績		
<p>【内容】 環モ室 節電チャレンジの継続と実施世帯の増加を目指す。</p> <p>【実績】 環モ室 節電チャレンジを2回実施し、夏126世帯（R4：147）、冬178世帯（R4：181）世帯の参加があった。夏の取組み実績のうち、グリーンカーテンやすだれなど、日射への対策をした家庭は66.3%（R4：86.7%）だった。</p>						A	B

[資源循環] 生ごみ減量と緑を育む運動の推進

ごみの減量化やグリーンカーテンの有効性を伝える

⑧ イベント開催時にPRブースなどを展開し参加者への周知を行うとともに町広報紙やHP（SNS含む）、CTKなどを活用し、広く周知する	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 住環	環境フェア等でごみ減量のPRを行う。					A	C
【実績】 住環	環境フェアにおいて、令和6年2月に臨時回収した陶磁器類のうち使えるものをリサイクル推進のため配布した。臨時回収は2月に回覧と防災行政無線により広報した。（R4:環境フェアから実施） 広報誌ほっとみたけ6月号で「ごみダイエットについて」と題して、2月号で「分別収集に取り組もう」と題して、ごみの減量とリサイクルについて、PRを実施した。 グリーンカーテンの有効性を伝える取り組みはできなかった。						
⑨ 各種団体や各学校などが活動成果や学んだことを環境フェアなどで発表する	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 学教	小中学校の環境学習のまとめを環境フェアなどで展示または発表する。					A	A
住環	団体の活動成果を環境フェアなどで発表する。						
【実績】 学教	学校の取組は随時学校HP等により行っている。ほっとみたけ3月号では子どもセンターが編集発行する情報誌「ぼけっと」におけるSDGsに係る取組を紹介した。環境フェアでは各中学校及び御嵩小学校が出展した。					A	A
住環	生活学校が廃油石鹸を作り環境フェアで配布するとともに、リサイクルステーションの運営に関する展示を行った。						
⑩ 各種団体や住民から情報収集を行うとともに、各種団体や住民がそれぞれの手段で伝え広める	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 住環	各種団体と協議し、周知を図る。					B	B
【実績】 住環	松野湖クリーン作戦や可児川クリーンキャンペーンを実施し、住民、各種団体等が参加した。このことにより、各種団体等が、アピール出来る環境を整えた。						
⑪ 環境モデル都市として、地球温暖化や温室効果ガス削減をテーマにした作品展の開催	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	未実施	—	—	—	作品展の継続		
【内容】 環モ室	作品展の開催を継続し、環境意識の向上を図る。					B	A
【実績】 環モ室	環境モデル都市作品展を開催し、作品応募数は28点（R3:21点）と昨年より応募数が多く、子どもたちの環境への意識の高まりを実感した。また、応募作品は、中山道みたけ館と環境フェアにおいて展示することで、応募者だけでなく閲覧者に対しても環境への意識向上を働きかけることができた。						